

「九州・沖縄地域共生社会推進フォーラム」



サンコーライフサポート
Sanko Life Support

令和4年1月28日

株式会社 サンコーライフサポート
社会福祉士・精神保健福祉士
総合支援室 原川 太希志

会社概要

会 社 名	株式会社サンコーライフサポート
代表取締役社長	橋本 一郎
設 立	1982年7月3日
本 社 所 在 地	熊本県合志市須屋250-1
高齢者住宅所在地	・熊本県（合志市・宇土市） ・福岡県（福岡市早良区）
従 業 員 数	160名※2021年12月1日現在

資 格

<医療・福祉>

- 介護支援専門相談員（ケアマネジャー）
- 社会福祉士
- 介護福祉士
- 認知症ケア専門士
- 精神保健福祉士
- 看護師、准看護師
- 保育士
- 管理栄養士、栄養士

- ヘルパー1級、2級（介護職員初任者研修）
- 福祉用具専門相談員
- 小中高教員資格

<建築>

- 一級建築施工管理技士
- 二級建築士
- ビル管理士
- 消防設備士
- 福祉住環境

コーディネーター

関 連 法 人

- 株式会社三好不動産
介護賃貸住宅NPOセンター
株式会社ぞうさんのはな〔特例子会社〕
社会福祉法人三幸（令和3年9月認可）

■障がい者支援 ■ (12名)

- ・特例子会社（株）ぞうさんのはな
- ・社会福祉法人三幸 A型事業所「YORISOI（1月）」
- ・就労サポート事業

■幼児・児童 ■

- ・企業主導型保育事業 ぞうさんのはな保育園
- ・放課後児童健全育成事業 ぞうさんクラブ
- ・子ども食堂

障害

子ども

■デイサービス ■

- ・元気な家
- ・地域密着型デイ秋桜
- ・通所サービスA型秋桜

■訪問介護 ■

- ・元気な家
- ・コレクティブハウスひまわり

■居宅介護支援事業所 ■

- ・和玄さくら

介護

■合志市 ○多機関協働事業○アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

- 一時生活支援支援事業（生活困窮者自立支援事業）
- 就労準備支援事業（生活困窮者自立支援事業）

■大津町 ○多機関協働事業○アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

委託

■宅配弁当 ■

- ・ひまみちゃん弁当

■地域交流スペース ■

- ・ひまみちゃん食堂

給食

■居住支援法人（熊本県指定） ■

- ・入居相談・入居後支援・サブリース・見守り支援

■一社）合志市居住支援協議会 ■

- 各サロンへ出向きセミナー、相談会
- 空き家・空きテナント活用「居場所づくり」
- 合志市セーフティネット住宅の運営

住居

■高齢者向け住宅 ■

- ・元気な家ひまわり（有料老人ホーム）
- ・コレクティブハウスひまわり（有料老人ホーム）
- ・スリースマイル秋桜（サービス付き高齢者向け住宅）
- ・グループホームうきうき

施設

お年寄り健康把握アプリ開発へ 合志市と3業者が連携



商談会で、左より、合志市長の木下勝也、株式会社ソリューション・デベロップメントの川嶋義和社長、熊本都市圏連携推進会議の木村義人議長。右側には、合志市と連携する3業者のロゴが並ぶ

宅配弁当で「見守り」

～お年寄りのあいさつ～

お年寄りのあいさつ～お年寄りのあいさつ～
お年寄りのあいさつ～お年寄りのあいさつ～

お年寄りのあいさつ～お年寄りのあいさつ～
お年寄りのあいさつ～お年寄りのあいさつ～
お年寄りのあいさつ～お年寄りのあいさつ～
お年寄りのあいさつ～お年寄りのあいさつ～
お年寄りのあいさつ～お年寄りのあいさつ～
お年寄りのあいさつ～お年寄りのあいさつ～
お年寄りのあいさつ～お年寄りのあいさつ～
お年寄りのあいさつ～お年寄りのあいさつ～
お年寄りのあいさつ～お年寄りのあいさつ～
お年寄りのあいさつ～お年寄りのあいさつ～
お年寄りのあいさつ～お年寄りのあいさつ～
お年寄りのあいさつ～お年寄りのあいさつ～
お年寄りのあいさつ～お年寄りのあいさつ～
お年寄りのあいさつ～お年寄りのあいさつ～
お年寄りのあいさつ～お年寄りのあいさつ～
お年寄りのあいさつ～お年寄りのあいさつ～

警察署との 見守り協定

高齢者見守りで協定

熊本北原書士会と
高齢者見守りについて
意の相違を解消する
ため、合意書を記載して
署名捺印を行った。書士
は「地域の高齢者を安全
に見守るために、地域の
高齢者の皆様が安心して
生活してもらいたい」とい
う思いでこの取り組みを行
う」と述べた。



高齢者の見守り活動に関する
協定を交わした野所豊之助所長(左)
と熊本北原書士会代表(右)

高齢者見守り活動に取り組むために、
2021年3月29日、熊本県警・西原署
は、西原地区の高齢者見守り活動に
取り組む北原書士会と、西原地区の
高齢者を見守る活動を行うことによ
る。西原署は、西原地区の高齢者見守
り活動を支援し、西原地区の高齢者見
守り活動の運営を協力する。また、西原
署は、西原地区の高齢者見守り活動に
取り組む北原書士会と、西原地区の
高齢者を見守る活動を行うことによ
る。西原署は、西原地区の高齢者見守
り活動を支援し、西原地区の高齢者見
守り活動の運営を協力する。

第106号 令和3年4月発行

編集・発行/新日報山鹿版部
新日報販売センター
所長/井上光輔
〒819-1113 吉松町660-2
TEL 096-343-0303
FAX 096-345-5866
E-mail: service@newshou.jp

2021.4月号



第106号 令和3年4月発行

わが町探訪⑭ 指揮にある、ちょっと気になる所へおじやんすみ

みんなの居場所 はなみずき



宅配弁当で高齢者・障がい 者への手渡しでの見守り

誰でも集えるみんな の居場所の開設



住民の「居場所」開設
合志市役所

2021年
4月19日
月曜日

あれすけ
おすすめ

サルに餌やり
食べてくれたよ

「西原の日(4月
19日)を前に、熊本県
動植物園にて、子ども
たちが教育園の仕事
を体験し、サルに餌
やりをしてたよ。」

支えあおう
いま心ひとつ

西原の日(4月19日)を前に、熊本県
動植物園にて、子どもたちが教育園の仕事
を体験し、サルに餌やりをしてたよ。

支えあおう
いま心ひとつ

C12



第106号 令和3年4月発行

わが町探訪⑭ 指揮にある、ちょっと気になる所へおじやんすみ

みんなの居場所 はなみずき



合志市須屋のサービ
ス付き高齢者向け住宅
「スリースマイル（秋桜）」
の食堂で6日、高齢者
との交流を兼ねた「体
験型」子ども食堂が開
かれた。

事業者サンコーライフ
サポート（福岡市）が、
施設を運営する介護
事業者「みどり」が、
「子ども食堂が開
かれた。

4月から月1回開いて
いる。この日は、施設
の職員とその子ども
約20人が参加した。
入居者11人とボール
ームを転がして点を取り
食の配膳をお手伝い。
子どもたちはエプロン
姿で「さきご飯やレタス

子ども食堂 高齢者と交流 合志市の施設 ゲームも楽しむ



高齢者のためにエプロン姿で食事の配膳を手伝う子どもたち＝合志市

の肉巻きなどを配り、
一緒に味わった。熊本
市立橘小3年の清水大
輝君は「お年寄りと子
どもが楽しかった。配膳の
お手伝いも頑張れた」と
喜びを語った。配膳の
催日は回覡板や地区の
子ども会を通じて告知。
隣接する菜園での
野菜収穫や調理体験なども計画している。（宮崎あづさ）

幼老共生による子ども食堂

民間ノウハウで孤立防げ



みなし仮設のアパートに住む西元洋子さん（左）に困り事などを聞く生徒会員の原川太希志さん（右）＝8月31日

県内初の委託 見守りに力

合志市の仮設「地域支え合いセンター」

**熊本地震による地域支え合いセン
ターによる見守り支援**



みなし仮設のアパートに住む西元洋子さん（左）に困り事などを聞く生徒会員の原川太希志さん（右）＝8月31日

熊本地震 県内の被災状況	
直接死	50人
難没間違死	183人
二次災害死	5人
負傷者	2,715人
建物 住宅	197,042棟
仮設住宅	4,024戸 (10,410人)
みなし 仮設	14,447戸 (33,208人)
公営住宅 など	385戸 (2,103人)

震災から2年、多くの被災者が
まだ仮設生活を強いられ、
多くの被災者は、震災後も
なかなか戻らなかった。また、
ほとつて生活費を浮
かべた。

震災後は、生徒会員の
行方不明、病院で
微弱振動を受け生じ
た腰痛、同僚の「
おは、社会福祉士や
精神保健福祉士、看護
士なども假想災害に
から助けてくれる事
がある」といふ言葉
を聞き、専門的な知識
を持つ大學生として、
震災後は、生徒会員の
見守り事業を重視す
ることをノウハウを教
へられた。（西元洋子）

平成29年9月26日（火）

熊本日日新聞

実施目的

「住まい」を中心に高齢者・障がい者・生活困窮者・その他支援が必要とされる方々に対して、住居・就労・居場所・役割などその方に合った支援の提供と住み慣れた地域で生きがいを持ち、社会から孤立しないための会社独自の仕組みづくりを実践しています。今後も複雑化していく地域課題に対応できる地域包括ケアシステムや地域共生社会の実現に向けた「誰一人取り残さない仕組みづくりを実践していくことを目的としている」

取り組みを始めた動機・きっかけ



社会構造や人々の暮らし、家族構成の変化に伴いコミュニティの希薄化が進む中、地域住民一人ひとりの暮らしを地域で支えあい、ともに歩んでいく地域共生社会を実現していく為に、今までお世話になって育てて頂いた地域へ、地元企業として恩返しがしたいという想いと地域づくりや課題解決に貢献したいという想いを強く感じたのが取り組みを始めたきっかけです。

実施体制



会社独自の部署として総合支援室があり、行政への出向者も含め、社会福祉士・精神保健福祉士など5名在籍し、そこが起点となり、介護部門、保育部門、建築部門と課題解決に向けて連携した体制を図っている。

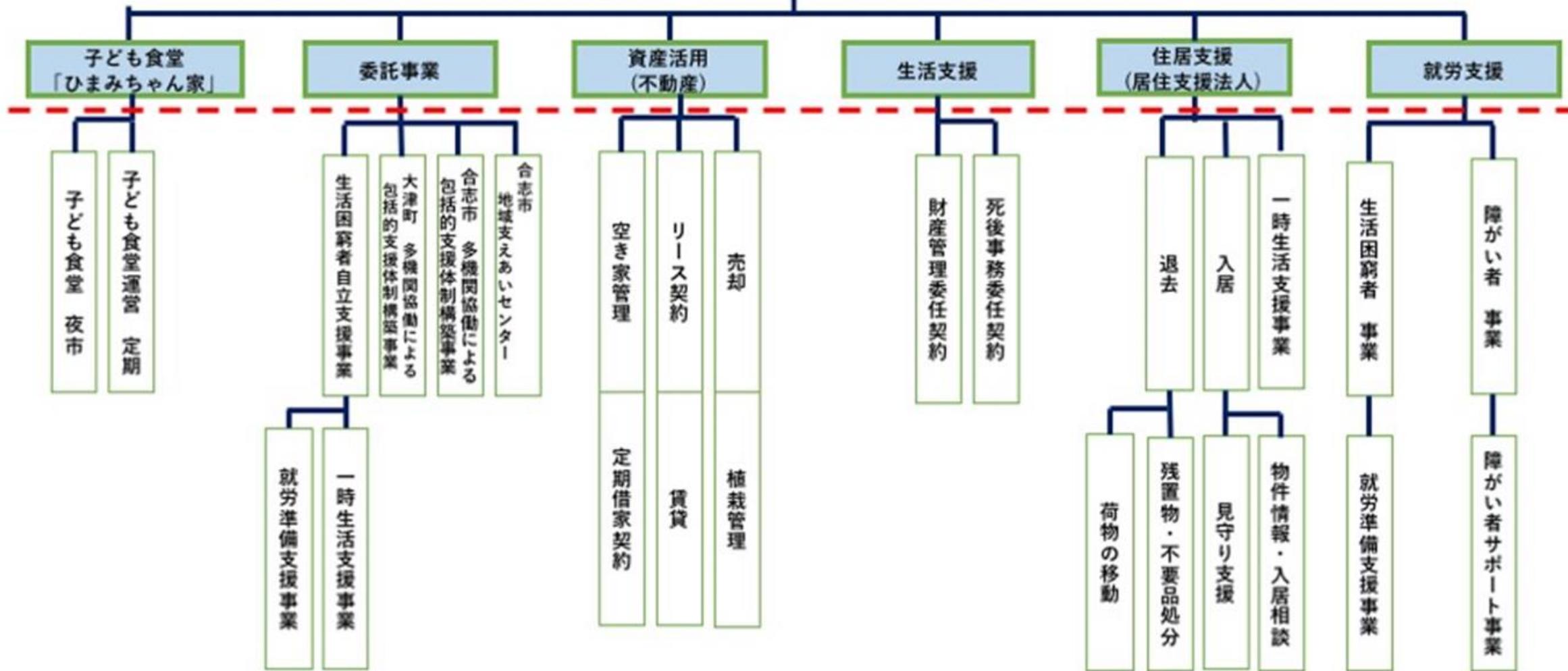
取り組み対象者

「属性は問わず、全ての困っている地域の方たちを対象」



総合支援室

『総合支援室では、「地域包括ケアシステム」「地域共生社会」の実現に向けて行政機関、社会福祉協議会、各関係機関と連携し民間の力を活かした活動を実施しています。』



- 多機関協働事業
- アウトリーチ

委託

出向

相談

一時生活支援事業

委託

- ・住居喪失
- ・緊急的な住居の提供

定期訪問

- ・室内の状況確認
- ・生活状況
- ・ゴミの分別
- ・生活上の困り事

警察OB2名
防犯対策

居住支援法人

県指定

- ・住まいの提供
- ・サブリース（保証人なしの方…23件）
- ・家賃支払確認
- ・室内状況確認
- ・定期訪問

食生活

- ・見守りも兼ねた宅配弁当
- ・管理栄養士による助言



家計支援

- ・収支のバランスについてアドバイス。
- ・その方に合った家計管理の方法を助言

生活支援

同行支援

- ・手続支援
- ・受診同行

体調管理

- ・看護師、社会福祉士の定期訪問による体調管理、助言

介護予防 認知症予防施策

- ・ミニディ
- ・シニアヨガ

子ども食堂

- ・幼老共生
- ・孤食を防ぐ
- ・ふれあい夜市

分野や属性は
誰でも



問わず
受け入れる

居場所

地域との交流

- ・地域交流大運動会
- ・地域交流バザー
- ・保育園マルシェ

みんなの居場所

合志市居住支援協議会

- ・誰もが利用できる居場所を創設（社会福祉協議会と協働）

高齢者

障がい者

ひとり親

生活困窮

引きこもり

弁当配達、調理、清掃、介護、農作業、事務、保育

障害者雇用12名

就労準備支援事業

委託

役割の創出

就労支援



取り組み効果

- ◆住居・就労の相談を受ける中で、空き家、空き室を活用した住まいの提供と就労の場を会社で提供することで、地域で永く住み続けていく為の自立した生活の基盤の確保が出来る。
- ◆就労を提供することで、本人の役割や居場所の確保でき、地域で孤立しないための環境が確保できる。
→「支えられる」側から「支える」側の立場に変わる。
- ◆会社としても人材確保になり、仕事を提供することで、業務の棚卸しや効率化、業務の分担が出来てきて、会社にとっても相乗効果が生まれている。



「住居」「就労」「居場所」「見守り」「相談支援」など、一人ひとりに対してその方に合った支援を循環して提供することにより、結果的に地域共生社会の実現に向けた仕組み作りが出来つつある。



これからも。。

みんなの笑顔のために





ご清聴
ありがとうございました